



研究テーマ

生物多様性・遺伝資源に関する研究

生物多様性に配慮した植生復元・緑化技術の開発

資源循環型の農業システム構築に関する研究



西脇 亜也

にしわき あや
農学部
附属フィールド科学
教育研究センター

教授

キーワード

環境、生態系、生物多様性、
遺伝的多様性、資源循環型
農業、エネルギー自給

特許情報・
共同研究・
応用分野など

右記の(1)は科研費基盤研究C、(2)は科研費基盤研究Cの助成を受けた。

(3)―1)は農水省、県、企業との共同研究。

(3)―2)は文科省の連携融合事業「農林畜産廃棄物利用による地域資源循環システムの構築」の一部としてH18年から開始した。(3)―1)はJA宮崎経済連等との共同研究。

研究概要

草原の生物多様性、特に草原の優占種の生活史や遺伝的多様性に関する研究を行ってきた。最近では「伝統的農法と先端的農法の調和」による「持続可能な農場」の研究を開始し、ススキなどの日本在来植物の遺伝資源や、鳥獣害対策、農業現場におけるバイオマス資源活用に関する研究を行っている。

(1)生物多様性・遺伝資源に関する研究

- 1) 都井岬や阿蘇の草原における生物多様性(種多様性や遺伝的多様性)の検討
- 2) 日本在来の植物における遺伝的多様性の検討
- 3) ススキなどの日本在来植物の遺伝資源に関する研究

(2)生物多様性に配慮した植生復元・緑化技術の開発

- 1) 在来植物を活用した緑化技術の検討
- 2) 種子収穫機(ハンディコンバイン)の開発による日本在来植物の種子収穫技術の開発

(3)資源循環型の農業システム構築に関する研究

- 1) イノシシやサルなどの農作物被害対策技術の開発
- 2) 堆肥の品質評価法の開発
- 3) 未利用バイオマスの「衝撃式・粉碎乾燥装置」や小型ペレット製造装置による燃料や飼料等への資源化

ホームページ

<https://srhumdb.miyazaki-u.ac.jp/webopen/search?method=view&id=366>

技術相談に応じられる関連分野

緑化、鳥獣対策、バイオマス資源化

メッセージ

元気な里山づくりを目指したいと思います。